

利用者に快適な「名駅」へ ビル、商業施設の開発続く

JRや名鉄、近鉄、地下鉄など公共交通機関が集まる名古屋駅。リニア中央新幹線の開通を見据えてビル開発が活発化している。

桜通り沿いにも新たなビルが相次ぎ誕生する。名古屋ビルディングの「名古屋ビルディング桜館」が3月末に竣工を迎える。東口前の名古屋ビルディングと統一感を持たせた外観で、地上12階・地下1階建て、地震の揺れを吸収する粘弾性制震ダンパーを導入する。出入り口に起伏式の防水版を設置して防災機能も高めている。CO₂(二酸化炭素)フリー電力を全量供給し、環境への配慮やBCP(事業継続計画)対策など時代のニーズに応じた都市空間を提供する。

桜通り沿い

名駅エリア



「名古屋ビルディング桜館」

